

様式 1

事前課題：「事例検討」【個別援助事例】について

研修を受講するに際し本事前課題を提出願います。

検討して欲しい・相談したい事例を具体的に記載願います。

事前課題の留意事項は以下のとおりです。

事例検討にかかる記載内容は以下の項目を記載願います。

提出フォーム：A4 版用紙（縦）、横書き（字数 40 字×30 行×1 枚以内）にて記載願います。

添付フォーム（様式 1：フォーム）を使用してください。

文体は、常体（「…だ。…である。」）にしてください。

記載内容の項目*****

1．個別援助事例

都道府県・市名：*****県（*****市）

施設名：*****苑

職種名：

受講者氏名：

2．事例検討 「 題 名 」(事例の内容がわかるように工夫すること)

3．この事例を取り上げた理由・動機

4．事例の概要（利用者個人が特定できないように配慮すること）

(1) 氏名・性別・年齢	(例)A 氏 ・ 男性 ・ 昭和 3 年生まれ(89 歳)
(2) 入所期間	年 月
(3) 現在の傷病名	
(4) 要介護度・自立度・ADL/IADL	
(6) 家族状況・関係	
(7) 生活歴	
(8) これまでの経過	(これまでの状況や支援、現状など)

5．相談したいこと・検討して欲しいこと（箇条書きで最大 3 点まで）

様式 1

【記載事例】

1. 個別援助事例

東京都 シブヤ苑 介護主任 福祉 花子

2. 事例検討

「昼夜が逆転してしまった認知症のある男性高齢者への支援」

3. この事例を取り上げた理由・動機

当初は大きな問題がなかった A 氏がある時期を境に昼夜逆転となり、昼間は転倒の危険、夜は苑内を歩き回るので、スタッフ一同、苦慮している。思い当たる方法を試したものの、奏功しないので、少しでもよいケアのアイデアや意見をもらいたいと思い事例を提出した。

4. 事例の概要 (利用者個人が特定できないように配慮すること)

氏名・性別	A 氏・男性		生年	昭和 3 年生まれ(89 歳)
入所期間	3 年 6 ヶ月		現在の傷病名	・アルツハイマー型認知症・高血圧 ・膝関節症
要介護度	4	自立度・ADL/IADL	認知症	障害 A2 車椅子自走可 食事は自立
家族状況・関係 車で 1 時間ほどのところに次男夫婦在住。3 ヶ月に 1 度程度来苑。長男は海外在住しており長女は独身で隣県に住むが、仕事が多忙なためほとんど来苑しない。A 氏自身は、長男を頼りにしている。				
生活歴 73 歳まで会社員として働く。82 歳のとき...(中略)...妻を 84 歳で亡くした頃より物忘れ出現。85 歳のときにアルツハイマーと診断される。長男の妻が通いで面倒をみてきたが、86 歳の時に入所となる。				
これまでの経過(これまでの状況や支援、現状など) 入所後 1 年は特に大きな問題もなく過ごしていたが、入所 1 年を過ぎた平成 27 年 4 月頃より、「眠れない」と訴えることが増え、睡眠薬処方される。しかし、徐々に昼夜逆転が始まり、昼間はぼんやり過ごし、消灯時間になると苑内を歩き回ったり、他の入居者の居室で迷子になったりするようになった。 日中に運動量を増やしたり、安眠のため本人の好きな音楽をかけたり...(中略)...しかし、今のところ大きな改善がなく、現在も夜間の対応に苦慮している。				

5. 相談したいこと・検討して欲しいこと(箇条書きで最大 3 点まで)

昼夜逆転の改善のために、どのような取り組み(個別支援)をしたらよいか。

昼間、ぼんやりした状態のため転倒の危険があり、どのようにしてリスクを最小限にできるか。

利用者家族への情報提供や協力支援をどのように取り付けたらよいか。